

第2学年道徳学習指導案

日時 平成17年10月5日(水) 2校時
対象 2年B組 男15名 女15名 計30名
指導者 教諭 菊池武彦

1 主題名 「主体的に生きる」 【 1・(3) 自主・自律 】

2 資料名 「白い花」 (学研「かけがえのないきみだから2年」)

3 主題設定の理由

(1) 価値について

指導内容1・(3)では、「自律の精神を重んじ、自主的に考え、誠実に実行してその結果に責任を持つ」ことをねらいとしている。中学生の時期は、自我に目覚め、自主的に考え行動することができるようになる。しかし、一方でこの時期は、他人の目が気になり、周囲の言動に左右され悩むことも少なくない。我が国のように、自由に自らの生き方を選び、行動できる社会にあっては、主体的に生きる選択肢が広がっている反面、価値判断がしっかりしていないと、他に流され、付和雷同した生き方にならないとも限らない。このことから、自己の生き方を探求し始めるこの時期に、真実を探求したり、自己を創造的に発展させたりして、主体的・自律的に生きることの大切さについて考えることは意義あるものと考え、この主題を設定した。

(2) 生徒について

道徳性検査の結果を見ると、平均水準がほぼ全国並みで、個人間の道徳性の水準の散らばりもほぼ全国並みの学級である。つまり、みんなと同じように成長や環境によって生じる悩みを抱えながら生活しているといえる。特に自我に目覚めるこの時期には、自分らしさを認めてほしいと願いながらも、必要以上に他人と自分を比べ、周囲の目や評価を気にする生徒が多い。ここでは、通行人の噂話を聞くたびに、話に出てくる花のようになろうと努力する白い花の心情をとらえ、その中に主体性のない愚かさや人間の弱さを、自分自身と重ねながら考えさせたい。そこから、付和雷同した生き方にならないよう、主体性を持って生きていこうとする態度を育てたい。

(3) 資料について

本資料は、絵本「しずかな旅人」に掲載の一篇「白い花」の前半部分である。美しくなりたいと願う白い花は、通行人の話に出てくる花になろうと他の花を身につけていく。その結果、本来の自分のよさまで失う主体性のない生き方が短い言葉と絵で表現されている。白い花の美しくなりたいという願望や、それを追い求めた結果に思い惑う姿を通して、この花に欠けていたものは何かを、自分自身と重ねながら、主体的に生きることの大切さを考えさせたい。

4 共に生きる心(人及び自然とのかかわり)について

書く活動で自己の価値観を認識した上で、他者と意見交流させ、自己理解や他者理解を深めさせたい。また、道徳的価値を認識していても実際の行動に移すことは難しく、生徒はそこに自己矛盾や葛藤を感じることになる。そこで、実践力を養うためにどう行動するのがよりよいのか、白い花のその後を小グループで話し合い、道徳的価値に沿った行動をシミュレーションさせたい。その中で、自分の周囲の願いや考えに触れ、安心して自分のよさを磨こうとする態度を養いたい。

5 本時の展開

(1) ねらい 人間としての自覚と誇りを持ち、自分のことは自分で考えて決断し、主体的に生きようとする心を育てる。

(2) 研究仮説(手だて)とのかかわり

- ・絵本を紙芝居として読み聞かせ、分割提示する。
- ・書く活動による、自己の価値観の掘り起こしと、意見交流による他者理解の機会を設ける。
- ・かかわりを持たせるために、グループでの話し合いを取り入れる。
- ・その後のストーリーを考えさせ、道徳的価値観に沿った行動化へのイメージづくりを行う。

(3) 展 開

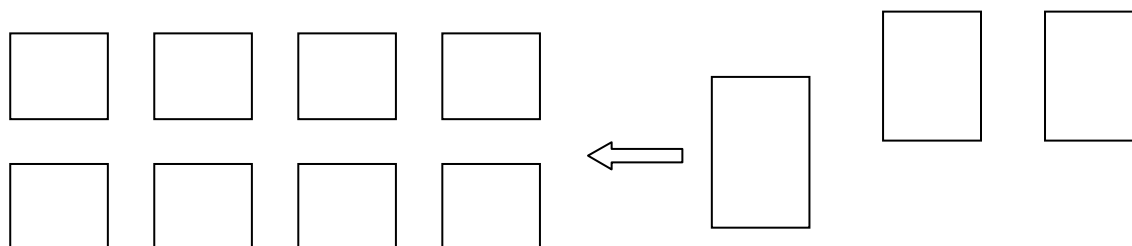
段階	学習活動と主な発問	期待される生徒の反応	指導上の留意点
導入 5分	1. 自分の好きな花と、理由を発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ひまわり 太陽のよう ・さくら 始まりを期待させる ・チューリップ かわいい 	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いの表情がわかるように学習形態はコの字型
展 開 39分	2. 読み聞かせによる資料提示 3. 白い花の生き方について考える。 白い花が通行人の噂を聞きその花のようになると頑張ったのは、どんな気持ちからか。何かおかしいと思いつつも、もっとすてきになりたいと、成長するたびに色々な花を身につけ続けていることについてどう思うか。 (書く活動) 「どうしてこうなってしまったのかしら・・・」という白い花の疑問に、なんと答えればいいのか。 (書く活動) 4. この白い花のその後を想像する。 この後、白い花はどうなったと思いますか。 5. グループごとに話し合った結果を発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなから認められたい。 ・自分のことがわからなくなっている。 ・噂ばかり気にしすぎている。 ・さらによくになりたいという気持ちは、誰にでもある。 ・自分のよさを大事にした方がいい。 ・他の人の言葉を気にしすぎない方がいい。 ・全ての花を落とし、翌年すてきな白い花を身につけた。 ・種となった白い花は、翌年白い花だけを一生懸命咲かせた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コマずつ紙芝居にして読み聞かせる。 ・自分自身に照らしながら、共感的に考えさせたい。 ・書く活動 自己の価値観の掘り起こしを行う。 ・意見交流と補助発問で他者理解と自己理解に努めさせる。 ・書く活動 道徳的価値に迫らせる。 ・4人グループ型 ・書く活動 をもとに、道徳的価値を深めさせる活動としてグループでその後のストーリーをまとめる。紙に書いて発表し交流する。 ・道徳的価値観に沿った具体的な行動をイメージ化させる。

その後	どしどし	白い花
-----	------	-----

- ・みんなから認められたい
- ・噂ばかり気にしすぎている
- ・さらによくなりたいという気持ちには、誰にでもある

終 末 6 分	6. 作者のメッセージを聞く。 7. 感想を書く (書く活動)	・メッセージを紙芝居の続きとして読み聞かせる。 ・書く活動 振り返しを行う。
------------------	---------------------------------------	--

6. 板書計画



白　い　花

月　　日

年　組　番

氏　名

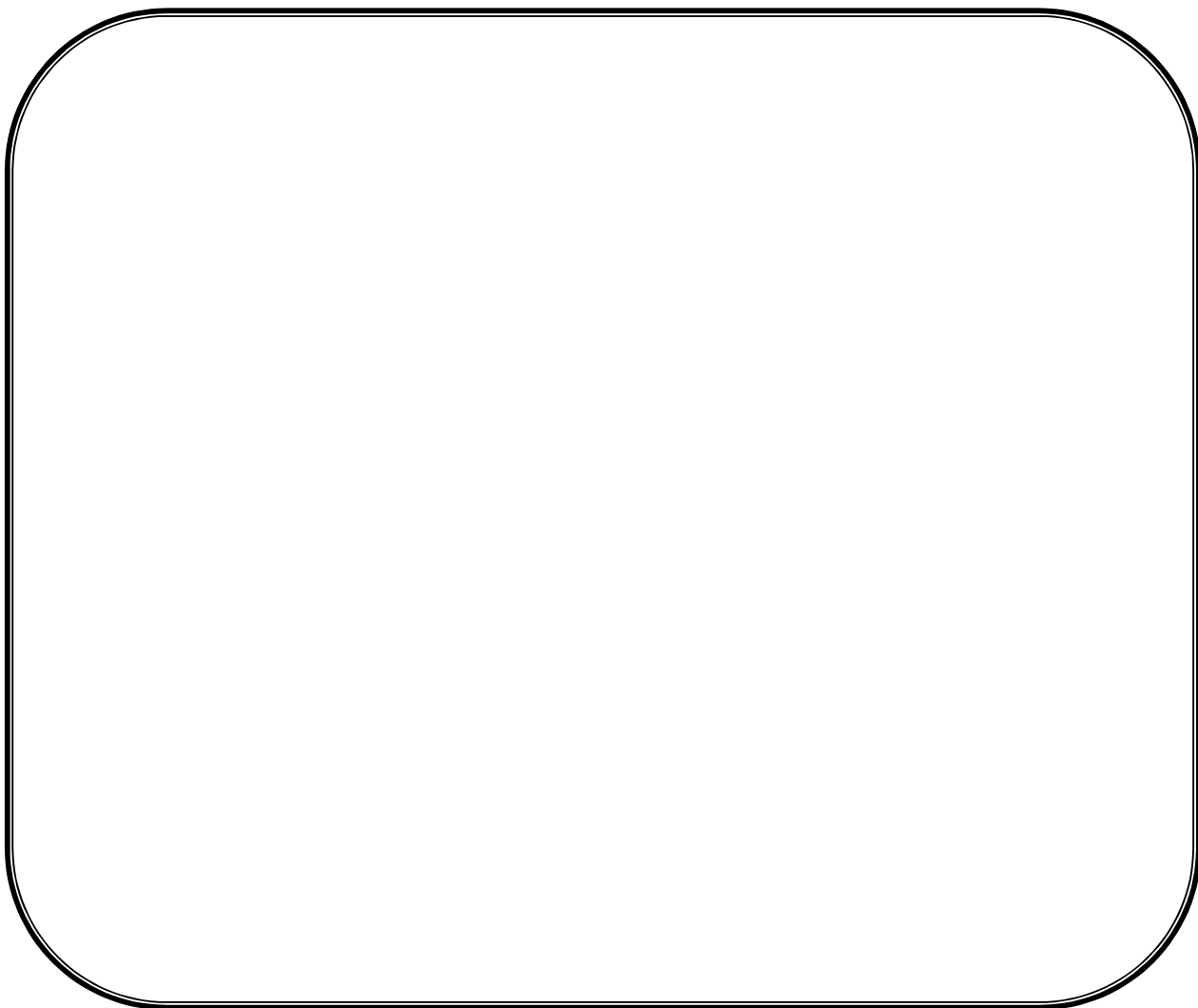
- 1 .何かおかしいと感じながらも、もっとすてきになりたいと、成長するたびに色々な花を身につけ続けていることについてどう思いますか。

- 2 ,「どうしてこうなってしまったのかしら・・・」という白い花の疑問に、なんと答えればいいたろうか。

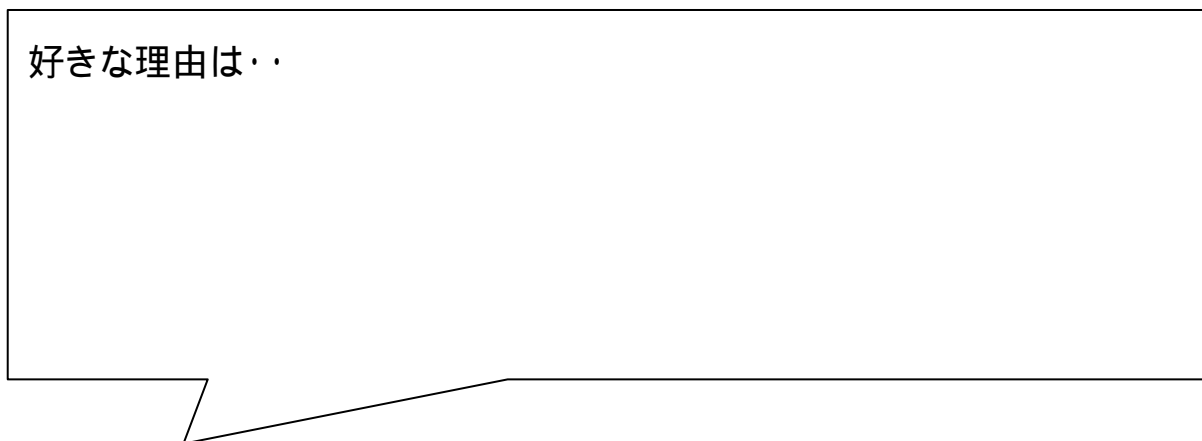
この後、白い花はどうなっただろう。想像してみよう。

- 3 .今日の授業の中で思ったこと、考えたことなどを自由に書いて下さい。

私はこんな花が好き！



好きな理由は・・・





組 番 氏 名
